

令和5年度 第1回  
港南区連合町内会長連絡協議会・港南区協働による地域づくり推進協議会  
合同意見交換会 開催報告

日 時	令和5年7月20日（木）14時15分から15時45分まで
場 所	港南区役所6階 601・602会議室
出席者	木島会長（上大岡）、横川会長（大久保最戸）、★★荻久保会長（笹下・区社協）、 ◆市村会長（日下）田代会長（日野）、■小後摩会長（日野第一）、 川島会長（港南台）、高橋会長（永野）、黒田会長（野庭団地）、 黒川会長（野庭住宅）、●●古屋会長（下永谷・区連会）、 若林会長（永谷・地区社協分科会）、飯島会長（芹が谷）、 ◆宮島会長（ひざり）、★上田会長（日野南）、石川会長（保活）、 小室会長（スポ推）、穂永会長（青指）、齊藤会長（消費）、岩崎会長（環境）、 塩田会長（シルバー）、小松会長（ヘルスマイト）、本間会長（商店会）、 稲村会長（工業会）、大木会長（保護司会）、栗原区長
	●港南区連合町内会長連絡協議会 会長、★同副会長、◆同監事、■同会計 ●港南区協働による地域づくり推進協議会 会長、★同副会長
議 題	1. 各団体における令和5年度の取組及び抱える課題について 2. その他

【協働による地域づくり推進協議会（協議会）の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所が一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成26年度から設置しています。

◆合同開催の趣旨

区の代表団体の長が構成員である「区連会」と、「協議会」が合同で意見交換会を行うことになれば、今までそれぞれで行っていた意見交換会よりも更に充実した内容で行うことができます。また港南区の協働による地域づくりをより推進することにも繋がることから、合同意見交換会を開催します。

第1回は各団体の主な活動内容と抱える課題を共有することを主とします。

第2回では各団体が抱える共通の課題等を分科会に分かれて意見交換し、各分科会で意見交換した内容を全体会で共有します。

## 【各団体が抱える課題について】

### 港南区連合町内会長連絡協議会 （古屋文雄 会長：下永谷）



自治会町内会加入率が毎年少しずつ低下しています。役員の担い手不足は長年の課題ですが、深刻さが増していると感じています。行事等は色々な人が参加できるよう工夫していますが、同じ顔ぶれになることが多いです。ICTは慣れない人もいるので普及させるのが難しい状況です。コロナが落ち着いてきたので行事等の再開を進めていますが、再開するにはかなりの労力を必要とするので、色々と苦勞しています。

### 港南区社会福祉協議会 （荻久保頼則 会長：笹下）

コロナ禍前まで地域活動に関わっていた方が活動がなかったことで離れてしまったり、解散してしまった団体が多くあります。活動の再開にあたり過去を知らない人が増え、うまくいかない等の課題が生じています。改めて担い手同士の関係づくりからやり直したり、地縁組織と共に企業や施設などとも連携して地域を活性化していく必要性を感じています。また、被災対応体制の整備についてはやるべきことを進めていき、情報発信では紙媒体とWEBの両者の強みを生かした活用を進めていく必要があります。



### 港南区民生委員児童委員協議会 （黒川暁博 会長：永野）※事務局代読

定年延長や共稼ぎの増加等に伴い担い手を見つけることが難しく、欠員の発生や在任期間が短くなる傾向がある他、役員も経験が十分ではない者がやらざるを得ない場合があります。職を持っている委員も多く、定例会、研修、行事等に参加できない委員も相当数います。一方で福祉活動については、高齢者の増加等のもとより、ヤングケアラー、8050問題等に象徴されるように、福祉に関わる対象事案が複雑・多様化しています。

### 港南区地区社会福祉協議会分科会 （若林諭 会長：永谷）

担い手不足がどこの団体でも共通の課題となっています。すぐに解決するものではなく、目の前のことをひとつずつやっていくことで効果が出てくると考えています。私たちが大事にしているのは「皆と繋がること、繋げること」です。そのためにはまずお互いを知ることが大切で、その後もう一步踏み出す必要があります。私たちの団体は会議で話したことについて、色々行動に移す形を目指して動いています。



### 港南区保健活動推進委員会 （石川正二 会長：ひざり）



会員の減少や在任期間が1年毎の地区もあり、活動の継続性や拡大性の点で苦慮している地区があります。また、会の名称のためか高齢者対象の団体と思われがちです。会員の高齢化が進み、世代交代が上手に進んでいません。コロナ禍で活動の中断があったことで、再開時にこれまでのノウハウ等の継承が進まないこともあります。行事の広報等が難しいという課題がありますが、アンケートの結果、「口コミで知った」が一番多かったのもので、そういうものをしっかり活用していきたいと思えます。

### 港南区スポーツ推進委員連絡協議会 （小室俊博 会長：日野第一）

コロナ禍で事業が行われず、委員の交代や定年で従来のやり方を知る人が少なくなり、準備等に非常に時間がかかる等苦労しています。役員の定年は70歳ですが、地区によっては高齢化が進んで委員を探すのが難しいという課題もあります。また、仕事をしている人は定例会に出れないという現状があります。各地区の委員は、地区・区・市のスポーツに限らず他の事業の協力もしており、かなり多忙です。



### 港南区青少年指導員協議会 （穂永進 会長：日野第一）



委嘱人数が改選ごとに減少しています。基本的には各地域での活動を中心にと考えていますが、色々な行事に参加するかしないか、またどのようなスタンスで地域に入っていくのかという点で各地区の認識にずれがあると思うので、意見交換をして全体のレベルアップを図っています。若い委員は働いている人もおり、一人ひとりがボランティアとしてどの程度時間を割くことが可能か、各自の優先度も異なるため、みんなをまとめる事が難しいという課題もあります。

### 港南区消費生活推進員の会 （齊藤陽子 会長：日野第一）

活動や存在の周知について、私たちの団体だけでは色々な活動はできず、各種団体等の協力を得なければ期待している効果を発揮できません。皆様の協力を得て、活動の周知をしたいと思います。活動は地区ごとに分かれて行っていますが、他地区との協働が少ないため、地区単位での活動を協働でできる方法を皆で考え、知恵を出し合える会にするべきだと考えています。



### 港南区環境事業推進委員連絡協議会 （岩崎奈保 会長：港南台）



委員の高齢化や後継者不足が課題となっています。定年がないため長い人では35年という人も多くいますが、新たな委員は一年交代であったり、ごみの問題だけをやれば良いという認識で年配の方を委嘱される地区が多いことが原因です。また、コロナが5類になったことにより徐々に活動が再開されてきていますが、コロナ禍前と同じようになかなかできず、悩みながら活動しています。

### 港南区シルバークラブ連合会 （塩田良英 会長：野庭団地）

会員数については、転居、死亡による減少が続き、新規加入者数は増加しているものの、会員増につながっていない現状です。また、全71クラブの中で、比較的長く継続している会長がいて、先を見据えて常に新しい活動に積極的に取り組むクラブと、旧態依然として現状の活動の延長に留まっているクラブとの格差が広がり、どう縮めていくかも課題です。シルバークラブは皆様の協力で継続できる団体です。今後も一層のご協力をお願いいたします。



### 港南区食生活等改善推進委員会（小松正子 会長：下永谷）



会員・役員の高齢化と共に継続される方が減少しています。もっと充実感・達成感を感じる活動が求められているのではないのでしょうか。デジタル化が進む中でパソコンやスマホ等の使い方が分からない方が多いこと、コロナの影響で事業ができない期間が長く、再開してもやり方が分からない人が多いことも課題となっています。また、他の団体とも協力していきたいと考えていますが、そのきっかけが無いのが現状です。何かコラボできるものがあれば声かけしていただければと思います。

### 港南区商店街連合会（本間泰輔 会長）

何をするにしても旗振り役がいないと始まりませんが、見つけることが難しくなっています。皆が協力してくれないという声もありますが、誰かがやらないから協力してくれる人もいなく、何も始まらないと考えています。誰かが動けば周りの人が助けてくれるので、何かをやりたい時は勇気を持って一歩踏み出すことが大事だと思います。ICTについては、皆に配る紙類が非常に大変であり、メール・LINE等ができれば便利なので活用していきたいです。



### 港南区工業会（稲村直之 会長）



コロナで経費削減や廃業等により会員が減少したことが挙げられます。会議や事業について、先代が子どもに社長の座を譲っても自らが顔を出す傾向があるためか、後継者の参加が少ないという課題もあります。若い人が出てきづらい状況を改善していきたいと考えています。港南区には懇親会等を開催できる大きな会場が無いことも悩みです。工業会は企業の会ですが、企業として港南区の皆様へ貢献できる会でありたいと思います。

### 港南保護司会（大木恵美子 会長）

年々退任者が多くなり、このままでは定員を大幅に下回るため、新しい人を早急に見つけることが一番の課題です。少しずつPRをして増やしていきたいと思います。会議やイベントについて、若い役員は働いており平日が難しいので、皆が集まりやすい曜日・時間に変えていきたいです。また、保護司会やその活動を知らない人が多く、周知方法に悩んでいます。社会を明るくする運動のミニ集会等で地域に伺いますので、よろしくお願いいたします。



### 港南区役所（栗原敏也 区長）



令和5年度港南区運営方針では、安心・安全、見守り支えあいなど、5つの施策に取り組んでいます。子育て支援では、子育て中の世代向けにLINEを活用して情報発信しています。区民意識調査では、区民の皆様の8割が「住み続けたい」と回答いただいております。「クリーンアップ」や「ハマロードサポーター」等で「ふるさと港南」をきれいなまちにしていきたいです。また、事務処理ミスゼロを目指すと共に、デジタル化の力を使って区民の皆様と向き合う時間を増やし、あったかデジタル港南を実現します。

## ◆【意見交換】（委員からの意見、感想 抜粋）

- 皆さんの話を聞き、高齢化や担い手不足等、共通している部分が多いと思った。
- 非常に参考になった点もあるので、こういう話も重要だと思った。
- 今回の情報交換も大切だが、地域、行政を含め課題の解決に向けて動いていく必要がある。
- LINE は情報伝達がとても早いため広げていきたいが、こうしたツールに抵抗がある人もいるため、何かもっと良いものがないかと思っている。
- LINE グループを作ったことで、瞬時に行事等の情報共有ができてありがたい。
- 会の構成メンバーによって、定例会の日時を変える等工夫して運営をしている。社会もどんどん変わっているため、既存のルールや取組を変えていくことが必要。
- 何かやる際は楽しくてやりがいがないといけない。
- 担い手不足には、目の前の問題ともっと先を見た問題の2つがある。子ども達は先を見た問題。親が忙しくて役員を担えず、子ども会を抜けるという状況があるが、子ども達は地域のことを考えており、町内会のことを知りたいという声もある。しっかり繋ぎ、かつ親を取り込むことが出来ればと考えている。
- 小中高のピュアな世代に自分たちの地域を知ってもらうことは非常にいい取り組みだと思う。
- 子どもの力は強い。子どもと大人の距離を縮めていけば、色々な活動にも参加してもらうことができ、いい自治会ができるのではと思う。

## ◆次回に向けて 栗原区長

今回の合同意見交換会は、初めての試みになります。各団体が全体ではどのような活動をしているのか知りたいという連長からの意見や、連長に各団体の活動について話す機会が少ないというご意見を踏まえ、区連会と協議会の両会長である古屋会長に相談して、今回各団体の長から直接連長にお話しする合同意見交換会を実施することができました。

今回は大人数で意見交換が十分できなかったのではと思います。本日の内容を事務局で整理し、次回は共通の課題等を分科会に分かれて意見交換できればと考えていますので、よろしくをお願いします。

# 当日の様子

